



編集発行/葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

電話 03-5698-2435 FAX 03-5698-2513

第73回 東京都社会福祉大会 東社協会長表彰 南綾瀬地区 小地域福祉活動推進委員会

「優良福祉地区」受賞 おめでとうございます

令和6年12月24日(火)に開催された 第73回東京都社会福祉大会(※)にて「南綾瀬地区小地域福祉活動推進委員会」が東社協会長表彰を受賞されました。

※東京の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し感謝の意を表する大会です。



大会・会場前で記念に♪



サロン活動の様子

話しやすい
距離感♪

南綾瀬地区では、**月1回**(第4土・午後) 集い交流館で「**午後のティー(サロン活動)**」を実施しています。参加者が楽しくおしゃべりしたり、学びあったりできるように**様々な催し**が企画されています。地元の名医の講話のほか、フラダンスや健康体操、かるた取り、甘酒を飲みながら風情を楽しむ会等も行っています。年**1回**の**出前寄席**も盛況です。✨



<目次>

P2~4: 地域住民情報交換会報告 / P6~8: 地区報告
P5 : サロン活動のススメ / P8 : 助成金報告

※しょうちいきつうしん(情報紙)に関するご意見・ご要望は、お気軽に社協へお願いします。

第11回 地域住民福祉活動 情報交換会

〈開催報告〉

令和7年1月24日(金)午後1時30分～(3時間)ウェルピアかつしかにて「第11回地域住民福祉活動情報交換会」を実施しました。

各地区推進委員の代表者を中心に約30名の方が参加されました。

今回のテーマは「**サロン活動（定期的な交流の場）の有効性**」。

大学教授による講演、地区報告、情報交換会を通して改めて『小地域福祉活動』が果たしている役割や意義を皆さんといっしょに考える機会となりました。



〈東四つ木ハーブさくら会〉

動画は
こちら



R7.7/4(金)午後5時まで閲覧可能



報告の様子



サロンの様子(ゲーム・おしゃべり)



サロンの様子(多世代交流)

～令和6年度から月1回のサロン活動開始～

「まずは定期的に活動してみよう」「運営側があまり負担感を感じることがないように工夫していこう」とスタートしました。

- ✓ 民生委員の提案で民生委員が担当する相談コーナーを常設。
- ✓ 地域住民と保育園児や中学生が交流するメニュー(イベント)も開催。

この場所に来ることで安心できる、元気になるとの声もあり、口コミで参加者が増えていきます。フラッと立ち寄り、気兼ねなく集える居場所となっています♪

活動内容

サロン活動

月1回(第2金)
午後1時30分～2時30分

令和6年7月～

メニューなし【フリーサロン】

- ・おしゃべり(茶話会)
- ・ゲーム(トランプ・輪投げ・ジェンガなど)
- ・相談コーナー(民生委員による)

好きなことをしながら
まったり交流♪

メニューあり

- ・音楽(Gバンド 中学校吹奏楽部 地元コーラス)
- ・体操(3B体操)
- ・保育園児による聖誕劇披露 など。

イベント活動

年1回程度
午後1時間半～2時間

サロン活動状況

サロン活動

月1回(第2金)
午後1時30分～2時30分

運営のお手伝いに
ボランティアの方が2名
来てくれています



おしゃべりしながら
フリーサロン
こんなこと やってます!



報告スライドの一部

報告スライドの一部



〈東金町地区小地域福祉活動推進委員会〉

動画▶▶



R7.7/4(金)午後5時まで閲覧可能



報告の様子

活動内容
健康の維持増進と地域の人々との交流を深めるために
「健康」をテーマにしたサロン活動を行っている

①簡単ヨガ	②ポッチャ	③スポーツ吹き矢
④ラジオ体操の集い	⑤健康麻雀(囲碁・将棋)	⑥盆踊り練習会

※上記のほかイベント型活動を2種類(健康フェア、楽(学)習会)年1回ずつ実施。

報告スライドの一部



健康サロン「ポッチャ」の様子

～6メニュー(月9回)の健康サロン活動実施中～

コロナ禍、「屋外活動を新たに始めよう」との声から『朝のラジオ体操の集い』がスタート。現在は、屋内メニュー：簡単ヨガ、盆踊り練習会、スポーツ吹き矢、ポッチャ、囲碁・将棋・健康麻雀 計6つのメニューを各月1回以上実施しています。

- ✓運営側の負担がかかり過ぎないように、参加者にも当日準備や片づけを担ってもらい、継続しやすい仕組みをつくっている。
- ✓メニューが複数あることで、参加者が自身に合ったもの(参加したいもの)を選ぶことができる。
- ✓運営側も自身が参加したいものに参加し楽しみながら活動している。

東洋大学 山本美香教授 《2地区・講評》

動画▶▶



R7.7/4(金)午後5時まで閲覧可能

山本教授から2地区へ質問がありました。教授と地区のやりとり2内容を更に深めることができました。最後に教授から2地区に”共通している4つのこと”を挙げてもらいました。



ニーズを実感している

様々な社会資源を活用している
(取り込んでいる)

参加者のニーズに応じた
活動のメニューを広げている

活動を続けていくための
工夫がされている

情報交換会

参加者からの声～

「自分たちが楽しみながら、やっていくことの大切さを痛感した」

「活動PRの仕方を工夫したいと思った」

「ほかの地区の方と話しをすると勉強になる。」

地域活動っていいですね」





東洋大学 山本美香教授 《講話》

動画は
こちら



R7.7/4(金)午後5時ま2閲覧可能

山本教授の講話 タイトル『居場所づくりが地域を変える?!』

サロン活動の振り返り・始めるきっかけとなるお話がありました。

ぜひ、動画で内容をご確認ください。

《講演トピックス》

- ・孤立化する現代社会
- ・日本だけじゃない！孤立化がすすむ世界
- ・地域の中に新しく「縁」を作ること
- ・いろいろな居場所
- ・居場所のもつちから



お話のなかでのキーワード ピックアップ

❗ 誰かと対等につながりを実感できること：孤独・孤立対策にとって大事なこと

❗ 「弱い結びつきの関係性」のほうが、意外な情報を運んでくれる
↑「弱い（あるいは軽い）」つながりを地域のなかに作っていくことが必要！

後半は、具体的な「居場所」について
例示しながら お話しいただきました。

なんとなく顔がわかる関係性

いろいろな居場所

①コミュニティカフェ型

②ふれあい いきいきサロン型

③個々の問題を抱えた人への
支援型

④いろいろな人の問題解決型

地域でのつながりづくり いろいろあってよい。
いろいろあるからこそ、つながれる人がいる。



居場所のもつちから

- ✓ 居場所は、地域でのつながりの「培養器」
- ✓ 人と人をつなぐ”ヒト”が重要
- ✓ ”ヒト”がいる居場所を拠点（中心）に
ネットワークがつくられる。
- ✓ 弱いつながりでいい。弱いつながりこそ強い。
- ✓ 楽しい居場所を作ってこそ、ながく続けられる。





地域のつながりを育てる

サロン活動は、参加者の笑顔だけでなく、地域全体の絆を深め、安心して暮らせるまちづくりにもつながる大切な取り組みです。一人ひとりの関わりが、誰かの「居場所」や「生きがい」を生み出しています。

なぜ「参加交流型」が大切なのか？

✓ 受け身ではなく、みんなをつくる

参加者がただ来るだけの場ではなく、「やってみたい」「一緒にやろう」が生まれることで、継続的な活動に。

✓ 世代や立場を越えた交流が生まれる

「高齢者向け」と思われがちなサロンも、子どもや若者、地域の多様な人が関わることで、より開かれた場に。

✓ 孤立を防ぐ地域のインフラに

見守りや支え合いにつながるネットワークとして、サロンは地域福祉の大切な“土台”になります。

地域の皆さんができる工夫とは？

・・・こんな活動、いかがですか？！

🎯 「参加型」の仕掛けをつくる

- ・ワークショップ等の形式でみんなが発言・行動できる構成
- ・簡単な役割をお願いして「参加の一步」を後押し

🌿 多様な人が関わりやすい環境づくり

- ・若い人や外国にルーツのある人なども入りやすい雰囲気
- ・声かけ・チラシの言葉・時間帯などを工夫してみる

👏 運営側も“参加者の一人”として楽しむ

- ・主催者が楽しんでいる姿が、参加者の安心感につながります
- ・小さな「ありがとう」や「また来てね」を大切に

<さいごに>

イベントやサロンは、「やること」よりも「どう関わるか」が大切です。

いっしょに笑い合い、学び合い、支え合う場づくりのために——
皆さん1人ひとりが“つながり”のきっかけになる大切な存在です！

令和6年度 各地区 イベント型 活動報告

～前号で紹介できなかった地区を中心に～

水元地区 11月 平日午前「ふれあいの会」



水元学び交流館にて、年1回イベントを開催しています。

今回は、**脳トレ・マジックと茶話会**でした。約80名の方に参加いただき、マジックを楽しみながら、脳トレを行う新しいスタイルで、大変盛り上がりしました。

金町地区 11月 平日午後「サロンコンサート」



地区センターにて、年に1度、**サロンコンサート**を開催しています。

今回は、**混声合唱団「ツヴァイ」**の皆さんにお越しいただきました。視覚的にも楽しめる演出もあり、100名を超える参加者の皆さんと懐かしい歌を歌ったり、和やかな雰囲気となりました。

新宿地区



11月 土日「新展（にいてん）」

毎年開催している**地域展覧会『新展』**は第10回を迎え、新宿小学校で実施しました。

出展者約90人（児童館、小学校、中学校、高校のほか、地元住民）。作品は絵画、彫刻、写真、書道、工芸、手芸等の多岐にわたり見ごたえ充分でした。**民生委員による喫茶コーナー**も好評でした。

奥戸地区

11月 平日午後

「笑い与健康 ～脳トレ・筋トレ・脂肪トレ～」



奥戸スポーツセンターにて、年2回、**ふれあい事業**を実施しています。

今回は、『**健康体操 笑い与健康～脳トレ・筋トレ・脂肪トレ～**』を行い、100名以上が参加しました。参加者からは「普段使わない身体や頭を使え、よかった」等の声がありました。

水元

金町・新宿エリア

奥戸

令和6年度 各地区 イベント型 活動報告

～前号で紹介できなかった地区を中心に～

新小岩

新小岩地区 3月 土曜「みんなで楽しむ会(食事会)」

地区センターにて、年3回程度、**食事会を兼ねた催し**を開催しています。

今回は、元力士による相撲甚句の披露と高齢者総合相談センター・保健センター職員によるお話しをいただきから食事会を行いました。60名の参加者から「外へ出る機会が減ったので有難い」「良いお話しと久々に仲間とあえてなつかしく嬉しかった」等の声がありました。



亀有地区 3月 平日午前「亀有花風船の会」

毎週2回(水・土)の**亀有駅前花壇の水やりや手入れ**のほか、年5回の**イベント活動**を行っています。活動をはじめて、10年をむかえます。今回は、花壇の花植えを行ったあと、地区センターにて、元保護司の五代目 一龍齋貞花 師匠による**講談とはつらつ体操**を実施しました。



青戸地区 2月 平日午後「落語会と健康体操」

班活動のほか、**地区全域を対象にイベント活動**も行っています。

今回は、地区センターにて、**落語会と健康体操**を実施。落語会で大いに笑い、体がほぐれたあと、椅子にすわったままできる健康体操を行いました。100名超の参加者が音楽のリズムに合わせて楽しそうに体を動かしていました。



お花茶屋地区 2月 平日午後「災害に関する出前講座」

年に2回程度、イベント活動を実施しています。

今回は、地区センターにて、**葛飾区出前講座『災害から生き延びるためには』**を実施し約40名が参加され、「今回の講演を繰り返し行ってほしい」「備蓄品の点検補給を改めてしようと思った」等のお声がありました。また、**おしゃべりタイム**では「地域の方と話せて良かった」等の声がありました。



亀有・青戸エリア

お花茶屋

東立石地区

11月 平日「健康講座」

年に3回、イベント活動を実施しています。地区センターにて、地元の『しむら接骨院 志村院長』にお越しいただき、講話『健康とバランス』、実践『ストレッチ体操』を実施。60名以上の参加者から「簡単な体操で覚えやすい。1人でもできると思う」「食事や体を動かすことに興味をもって過ごしたい」等の声がありました。



立石・四つ木エリア

四つ木地区

3月 日曜「ファミリーコンサート」

地区センターにて、年に2回「四つ木の町の音楽会」を開催しています。

今回は、朝日信用金庫吹奏楽部にお越しいただき、”マーチと日本の吹奏楽のルーツ”をテーマに吹奏楽ならではの演奏を披露いただきました。100名以上の参加者が手拍子で参加する曲もあり、家族連れ等、世代を超えて楽しんでいる姿がみられました。



小地域福祉活動

助成金「基本額」

20万円→30万円

使途状況<報告>

令和6年度から 小地域福祉活動助成金交付基準が変わりました。

なかでも、基本額の引き上げ（10万円増）に伴い、各地区の使徒状況を伺いましたので、報告・共有いたします。

引き続き、皆さん2アイデアを出し合い、活動の充実のためにご活用ください。

○活動に関するもの

- ✓講師謝礼の増額
- ✓参加賞の充実
- ✓サロン関連備品の購入
- ✓活動PRに関するもの
 - ・広報紙印刷
 - ・タオル・のぼり旗購入
 - ・広報紙の印刷

○推進組織に関するもの

- ✓整理棚の購入

◎その他

こんなお声も・・・

「参加者お茶菓子代

200円→400円

充実させられ2有難い」

※助成金は社協会費や寄付により支えられ2あり、小地域福祉活動を安定的かつ継続的に運営することに繋がっています。皆さんの活動の応援団がさらに地域2増えるよう、社協も引き続き、皆さんの活動をサポートいたします。